

子育てに関する 行政制度及びNPO 法人サービスについて

第56回

令和4年度「子供と家族・若者応援団表彰」

内閣府では、子ども・若者の健やかな成長に資することを目的に、子ども・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動に取り組み顕著な功績があった企業、団体又は個人を内閣総理大臣及び内閣府特命担当大臣から表彰しています。

令和4年度は、各都道府県等から推薦のあった中から、有識者等で構成される選考委員会の意見を聴いて、内閣総理大臣表彰として3件、内閣府特命担当大臣表彰として7件が表彰されました。その中から、内閣大臣表彰を受けた2団体を紹介します。

【子育て・家族支援部門】

能勢町家庭教育支援チーム「ほっこり」 (大阪府豊能郡能勢町)

能勢町では、平成29年4月、子どもの未来応援センターを設置しました。核家族化及び地域のつながりの希薄化等による家庭教育力の低下や、子育て家庭の孤立が懸念されることから、身近な地域において子育て経験者による支援チームを結成、家庭教育支援チーム「ほっこり」が誕生しました。

家庭教育支援チーム「ほっこり」は、家庭教育専門員1名・家庭教育支援員9名で構成され、子育てに関する情報や学習機会の提供、相談体制の充実をはじめとするきめ細やかな支援活動を行っています。特に、年3回年長(5歳)児及び1～6年生のこどもがいる全家庭を訪問し、子育て情報を掲載した「子育て情報誌『ほっこり』」を家庭に届けるとともに、家庭訪問を通じて家庭と「つながり」を作り、子育て家庭の孤立を防止しています。また、家庭との「つながり」の中で相談を受けた場合は、家庭の頑張りを共に支え、地域とのつながりづくりや専門機関への橋渡しをしています。

◆主な効果◆

- ①家庭の状況や保護者との対話から家庭が抱える課題を早期発見することができた
- ②講座「親学習」により、子育てに対する関心、意欲向上につなげることができた。
- ③個別の家庭を養育支援訪問や児童家庭相談等に円滑につなぐことができた。



左:家庭訪問の様子

右:家庭教育情報誌「ほっこり」には能勢町立能勢ささゆり学園・能勢町立のせ保育所・認定こども園みどり幼稚園の情報やイベントの情報・おせっかいおばちゃんの子育てアドバイス等を掲載しています。

【子供・若者育成支援部門】

特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ (神奈川県横浜市)

「エンパワメントかながわ」は、子どもたちの周囲にあるあらゆる暴力を無くしていくために、一人一人が大切であるという人権を伝える活動をしている団体です。子どもたちに、暴力を受けずに 生きる権利があることを伝え、もし暴力が向かってきた時に、出来ることを考えるプログラムを対象に合わせて開発し、提供しています。また、子どもの周囲にいる保護者や教職員にも、子どもの話を聴き子どもを暴力から守るためのワークショップを提供しています。これまでに提供したワークショップは、9,000 回を超え、33 万人が受講。デート DV を防止することで、DV や虐待の連鎖を断ち切ることができると考え、予防啓発と相談支援の両輪を築いています。デート DV 予防プログラムを開発・提供すると同時に、SNS を活用した広報啓発も推進しています。また、デート DV に特化した相談窓口を開設し、全国からの相談を受け付ける他、デート DV の被害生徒や加害生徒への個別回復プログラムを行うデート DV 専門相談員の養成にも力を入れています。

プログラムの紹介 (一部)



CAP プログラム

CAP (キャップ) とは Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止) の頭文字をとった略称です。1978 年アメリカで誕生し、日本では、1995 年に CAP を実践する専門家である「CAP スペシャリスト」を養成する講座が開催されたことにより、本格的に提供が始まりました。

子どもたちに「安心(あんしん)」「自信(じしん)」「自由(じゆう)」の権利があることを伝え、あらゆる暴力から自分で自分の身を守るために何ができるかについてロールプレイを交えながら考えていきます。

右:就学前 CAP の様子



デート DV 予防プログラム

中高生にとって身近な問題である「デート DV (恋人間の暴力)」をテーマとして、自分自身を大切にすること (人権) を伝え、人と人とが暴力のない対等な関係であるために、お互いの気持ちを尊重しあえるコミュニケーションを学びます。

10 代のうちに「デート DV」について予防・啓発することによって、DV という社会問題を減少に導くことを目的とし、2004 年からエンパワメントかながわが独自に開発しました。

どこにでもありそうな恋人同士の会話を題材として、深刻なイメージのある DV というテーマについて、ワークショップ形式で楽しく進めながら、恋人同士の間でも暴力が起こりうることを知り、できることを伝えていきます。対象は高校生や大学や専門学校の学生など、クラス単位で学校の授業の中で開催します。教職員や保護者対象のおとな向けも実施しています。



ほっとプログラム

～特別支援学級に通う子どもたちへの暴力防止～

特別支援学級に通う子どもたちが、いじめ、知らない人からの声かけ、いやなさわり方など、身近な暴力から自分の「あんしん」を守るために「いやだ」ということを具体的に練習します。スタッフによる寸劇、パネルなどの視覚的教材や作業を通してわかりやすく、担任の先生も一緒に参加しながら楽しく進めていきます。事前に先生方との打ち合わせ、子どもたちとの顔合わせ、また、開催後には先生方との振り返りを行います。

【連絡先】 認定 NPO 法人エンパワメントかながわ

〒221-0834 横浜市神奈川区台町 11-26-103

TEL:045-323-1818 / FAX:045-755-7007 HP:np0-ek.org

絵本の森

兄弟・姉妹というのは、楽しく遊んで仲良くしていたと思っていたら、泣くほどケンカになったりしますね。親としては声を掛けようか、見守っていようかと悩みの種ですね。今回はそんな兄弟・姉妹同士の複雑な感情を描いた絵本を紹介します。

いもうとのにゆういん



筒井頼子文・林明子絵

いもうとのにゆういん

作:筒井 頼子
絵:林 明子
出版社: 福音館書店
発行日:1987年2月
定価:990円(税込)

あさえが幼稚園から帰ってくると、お母さんはぐったりした妹のあやちゃんを病院につれていくところでした。友だちと遊びながら待っていると、お母さんが帰ってきて、あやちゃんが盲腸の手術で入院することになったといいます。あさえはお父さんが帰ってくるまで、ひとりで留守番をします。そのうち暗くなって、雷が鳴り……。妹の入院でちよっぴりお姉さんになったあさえの物語です。



にだんべっど

作:齊藤 倫・うさまる
絵:五十嵐 大介
出版社:あかね書房
発行年:2022年10月
定価:1,650円(税込)

にだんべっど、お兄ちゃんが上の段で、わたしは下の段。ここでおしゃべりしていたら…。それぞれの段で眠りにつく直前にかわす、ちょっとした会話がキッカケとなって、夜の街、ジャングル、難破船…と、夢のかけらのような冒険がはじまります。齊藤倫さん・うさまるさんコンビの不思議懐かしい物語に、五十嵐大介さんがキュートで新しい筆致をもって応えた絵本。美しく圧巻のラストシーンが必見です！

リラックス

フットマッサージ



寒さで体が硬くなり、疲れもたまっていませんか。一日の終わり、入浴中や入浴後にフットマッサージをしてみてもいいでしょうか。

手指にクリームを塗ってこすりあわせるように、足・足指にクリームを塗り、足全体を優しくマッサージします。コリを感じたら、足の指を一本ずつゆっくりと付け根から回したり、引っ張ってみたりすると足の血行が

良くなります。痛みがある場合は無理をせず、痛まない範囲で行ってください。また、足の指と手の指を握手するように組んで足首をゆっくり回します。足の指が凝っていると、手の指と組んだだけで痛みが出ることもあります。無理はしないで少しずつ指を組んでいきましょう。

お子さんと一緒に、お互いの足をマッサージすると、自分ではうまくいかない足の裏のほぐしなどが気持ちよくできますし、何より親子のスキンシップになります。



足は、自分の体の部分でも意識しないと直接触る機会が減ってしまいますね。特に冬は裸足になる機会も減るため、爪が伸びてしまっていることもあります。好きな香りのクリームを丁寧に塗って、手と同じように足の手入れをして、自分の体に耳を傾けてみませんか。